

無水・ローラー式灰皿
Clear Cigarette Care II
のご紹介



シー・ファーストSDGsへの貢献

人と自然に優しい 無水・ローラー式灰皿
Clear Cigarette Care II

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

タバコの消火に水を使用しない。
汚水が発生しない。



消火用の水が必要ない。
無駄な水を使わせない。



企業として自然環境と社会問題に関心を持ち、
お客様、地域とともに目標達成に貢献する。





Clear Cigarette Care II

無酸素・圧縮方式で汚染水を出さない
環境にやさしい灰皿

製品紹介動画



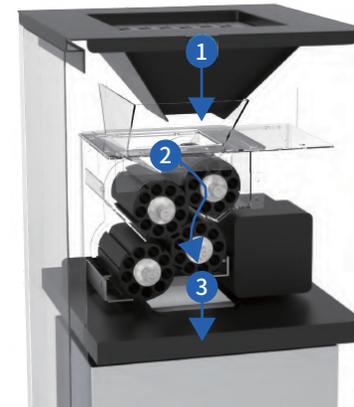
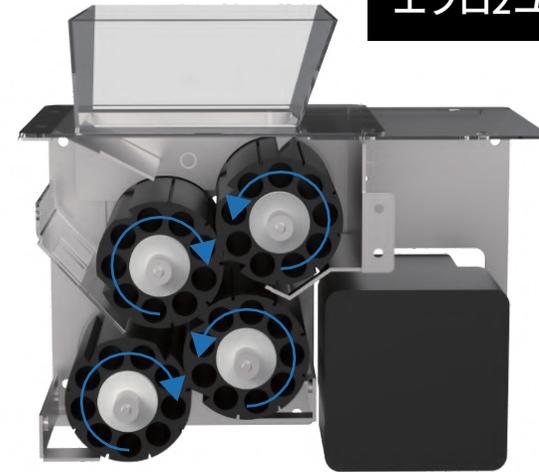
独自の 無水消火技術

タバコの消火に
一切水を使わない

4つのゴムローラーがタバコを
ゆっくり押し潰し完全消火
(※特許取得済み)

吸殻回収機で
ノントラブルの実績
(4,500台以上納入し、無事故&ノークレーム)

エフロ2ユニットの構造



- ①: 蓋に吸殻を入れる。
- ②: エフロ内部にある4本ローラーが吸殻を押し潰し、約40秒かけてゆっくり無酸素化し消火する。
- ③: ローラー下部から消火された吸殻が吐き出され、ゴミ箱に入る。

無水・ローラー式灰皿

3つの特徴

POINT 01

清掃の
手間を削減
(作業が楽)

POINT 02

汚水が
出ない

POINT 03

臭いが
少ない

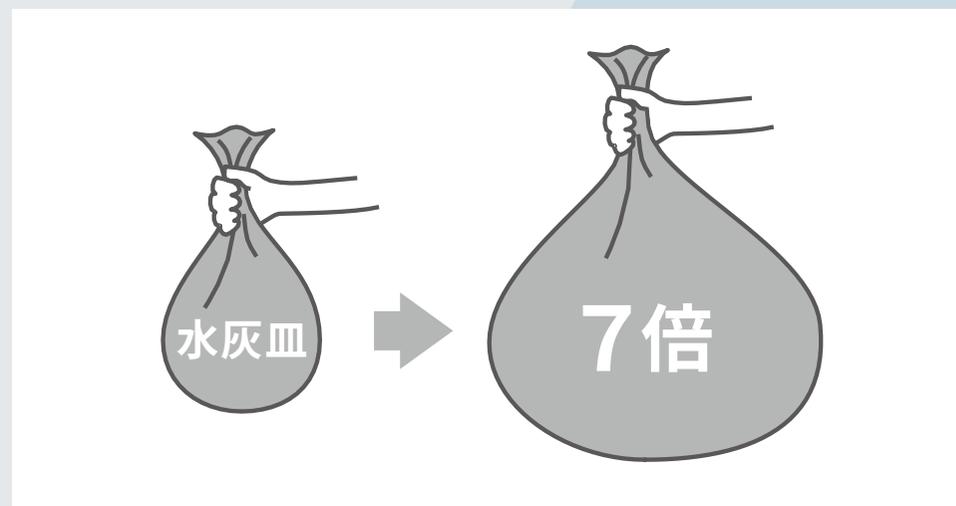
POINT 01

清掃の手間を削減



水を運び交換する手間が不要

ゴミ袋にたまった吸殻を取り出して捨てるだけ



約7倍の吸殻収納力 (交換頻度が従来の1/7程度で済む)

=水灰皿と比較した場合、吸殻が水を吸い膨張するので、
同じ体積比で約7倍の吸殻収納力

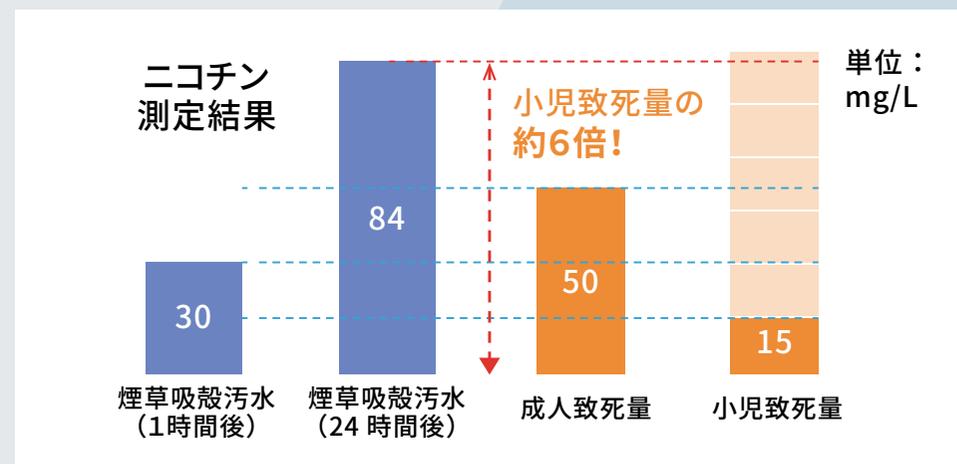
POINT 02

汚水が出ない_1

消火に水を使用しないため、ニコチンやタール等、タバコの有害物質が染み出た汚水が発生しない。



消火に水を使用する灰皿を想定し、水に吸殻を入れ、1時間と24時間後にニコチン量を測定した。



吸殻を浸けた水のニコチン量は約1時間で小児の致死量を上り、24時間で約6倍になる

POINT 02

汚水が出ない_2

燃焼したタバコを一定量の水に浸け、24時間静置後に、粗大な固形物を除いた試験水を測定。

東京23区内の下水排除基準値において、右の11項目が特定の条件下で基準値を超過する定量値が得られた。

試験機関：株式会社環境管理センター

- 生物科学的酸素要求量(BOD)
- 浮遊物質(SS)
- アンモニア性窒素
- 亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量
- 窒素含有量(全窒素)
- シアン化合物
- フェノール類
- 亜鉛及びその化合物
- 沃素消費量
- 不揮発性動植物油脂類
- 燐含有量(全りん)

POINT 03

臭いが少ない

水に浸かった吸殻の嫌な臭いが発生しない。



検証写真

3タイプの灰皿をアクリルケースにそれぞれ入れ灰皿上に測定器を置き、火のついたタバコを投入し消火～10分後の煙量を測定した。

※臭気の測定には「ハンディにおいモニターOMX-SRM」を使用。

	1分後	3分後	10分後
ClearCigaretteCare II	3.5	4.5	5.6
消煙灰皿	81	91	100
水灰皿	21.2	22.7	23.3

進化した機能

本体を従来の鉄製から、**サビや経年劣化に強い**
ステンレス製に変更



灰皿固定ストッパーにより、
清掃担当者以外が
灰皿のフタを外せない。
イタズラ防止機能を追加。



吸殻回収ボックスが
ステンレス製からアルミ製になり、
軽くなって**作業の負担を軽減**。
2.6kg→1.1kg!



防水タイプになったので**半屋外でも使用可能**。

※雨や雪が本体にかかるような場所では使用しないで下さい。
※閉店後は屋内に収容してください。

他社製品との比較01

	Clear Cigarette Care II	消煙灰皿	水灰皿
本体イメージ			
消火イメージ			
吸殻容量	最大1,500本	約300本	100～300本
におい抑制効果	○	×	×
吸殻処理方法	ゴミ箱に袋をかけて そのまま廃棄	ゴミ袋に移しかえる 完全消火するため、要霧吹き 定期的にBOXを洗剤洗浄	ザルで漉し、吸殻と水とを分ける 吸殻は乾燥させ、汚水は凝固剤で固める 等の対応を求められることも
吸殻処理作業時間	40秒	約5分	約7分

他社製品との比較02

	ClearCigaretteCare II	消煙灰皿	水灰皿
吸殻処理方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゴミ箱内のビニール袋を取り出す 2. 新しいビニール袋をゴミ箱に装着し、本体内に戻す 3. 吸殻を可燃ゴミとして処分する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 吸殻回収ボックスからほかの容器に吸殻を移し替える 2. 吸殻回収ボックスを本体内に戻す 3. 吸殻を完全に消火するため、水を吹き掛ける（又は水に浸す） 4. 完全に消火した吸殻をゴミ袋に移す 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 汚水と吸殻が入った灰皿をスタンド本体から取り出す 2. 灰皿の水と吸殻をバケツに移す 3. 灰皿を洗浄し、本体に戻す 4. 灰皿に水を入れる 5. 汚水と吸殻を分別する 6. 吸殻をビニール袋に移す 7. 汚水を大量の水で薄めて廃棄
メリット	<ol style="list-style-type: none"> 1. 吸殻の回収頻度が少ない 2. 吸殻回収・処分作業時間が短い 3. 煙・においの抑制効果が高い 4. 可燃ゴミとして処分可能 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水灰皿に比べ、吸殻処分作業時間が短い 2. 本体価格が比較的安い 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本体価格が安い
デメリット	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本体価格が高い 2. 定期メンテナンスが必要 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 吸殻が詰まりやすい 2. 煙のにおいが残りやすい 3. 完全消火まで時間を要する 4. 吸殻収納本数が少なく、回収頻度が多い 5. 清掃時に灰が舞う 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 吸殻収納本数が少なく、回収頻度が多い 2. 回収・処分時間が長い 3. 悪臭がしやすい 4. 汚水が発生する

内部構成図

- 1:蓋
(灰皿プレート含む)
- 2:エフロ2パーツ
(吸殻消火部)
- 3:スタンド本体
(構造収納部)
- 4:ゴミ箱
(吸殻回収用)



主な仕様

名称	無水・ローラー式灰皿 Clear Cigarette Care II
特徴	タバコの消火に水を使わない灰皿
消火システム(イメージ)	4つのゴムローラーでゆっくり押し潰し完全消火
吸殻回収容量	1,500本
外形寸法	本体寸法:W220×D220×H800 (本体ベース寸法:W300×D300)
製品重量	11.8kg
電源/消費電力	AC100V 50-60Hz 9.6W/50Hz 10.7W/60Hz
本体希望小売価格	オープン価格
ゴミ処分区分	可燃ゴミ
ゴミ箱内の吸殻処理作業時間	40秒
保守料	15,000円/年

企業概要

会社名	シー・ファースト株式会社		設立年月日	2018年3月16日	
所在地	[東京本社] 〒107-0062 東京都港区南青山1丁目4番17号 美松ビル7F TEL:03-6447-4130 FAX:03-6447-4135 [新潟営業所] 〒957-0062 新潟県新発田市富塚町3丁目8番27号 TEL:0254-28-1172 FAX:0254-28-1173		資本金	2,000万円	
役員	代表取締役	高木 正広	主要事業内容	環境維持設備機器の開発・製造 環境維持設備機器の開発・メンテナンス 商業施設設備の販売・メンテナンス 資源循環推進事業 FC事業 特許網を構築するための研究・開発 他	
	執行役員専務	本間 敏明	取引金融機関	三井住友銀行	
			主要取引先	(株)エース電研 (株)大平商会 (株)京楽 コスモ・イーシー(株) (株)SANKYO 大都販売(株) (株)光新星 星野工務店 (株)マースエンジニアリング (株)名星工業 他 (敬称略五十音順)	

製造・販売元  シー・ファースト 株式会社
C FIRST INC.

ホームページ



製品紹介動画



【東京本社】〒107-0062 東京都港区南青山1丁目4番17号 美松ビル7F
【新潟営業所】〒957-0062 新潟県新発田市富塚町3丁目8番27号

TEL: 03-6447-4130 FAX: 03-6447-4135
TEL: 0254-28-1172 FAX: 0254-28-1173